

平成25年 第4回定例会

議案審査特別委員会における主な議案質疑

(12月9日、12日、13日開催)

議案第86号

かすみがうら市空き家等の適正管理に関する条例の制定について

Q 現在、空き家の状況については把握しているのか。

A 条例案を作成する前に実態調査をしており、霞ヶ浦地区130棟、千代田地区で78棟となっております。

Q 空き家条例を制定している自治体で、行政代執行まで条文化している自治体はどのくらいあるのか。

A 県内の状況ですが、空き家条例を10自治体が制定しております。その内、つくば市、土浦市、常総市、八千代町で行政代執行を条文化しております。

Q 行政代執行を実施した場合、それに係る経費等を当事者に請求しても市に支払わない場合にはどうするのか。

A 行政代執行法の中で、国税の滞納処分と同じやり方で強制徴収できると規定されておりますので、その手続きによるとの考えです。

議案第87号

かすみがうら市太陽光発電設備設置促進のための固定資産税の特例措置に関する条例について

Q 市内における事業用の太陽光発電設備の設置数は、どのくらいあるのか。

A 霞ヶ浦地区に9カ所、千代田地区に5カ所が、既に設置されております。今後についてですが、霞ヶ浦地区が12カ所、千代田地区が1カ所予定している状況です。

Q 太陽光発電設備の設置促進を図るために、固定資産税を不均一課税としたいとのこと。既に設置予定事業者も多数いる中、条例制定の必要性はあるのか。

A 当市は、非核脱原発都市宣言をしており、積極的に自然エネルギーを取り入れるとの姿勢を示す必要があります。この条例が制定されることにより、太陽光事業者への土地提供者の誘因を図ることが、脱原発にもつながっていくとの考えから提示するものです。



▲ソーラーパネル

議案第110号

平成25年度かすみがうら市一般会計補正予算（第6号）

Q 交通安全照明施設設置工事の内容について伺う。

A 南中学校と北中学校の統合に伴いまして、新たな通学路が発生します。この通学路に14基の防犯灯を設置するものです。

Q 保育士人材確保等事業補助金の内容について伺う。

A 保育士の人材確保対策を推進するため、私立保育所が行う保育士の処遇改善に取り組むための補助金です。現在対象となるのは、のぞみ保育園、霞ヶ浦保育園、美並未来みなみ保育園となります。

Q 生活保護の住宅支援給付事業給付金とあるが、どのような場合に支給するのか。

A 離職者で新たに就職を目指している方のうち、住宅を喪失している方、住宅を喪失する恐れのある方を対象に支給いたします。生活保護に至る手前で支援をするものです。

Q 霞ヶ浦中学校スクールバス運行事業とあるが、バスの対象者について伺う。

A 通学環境の変わる北中学区の中で、通学距離が6 kmを超える方を対象としております。しかし、今回請願が提出されていることから、議会の審査結果によってはバスの運行基準を見直すことになると思います。

請願第6号

中学校の統合により通学が危険となる生徒に対しスクールバスの運行を求める請願書

Q 保護者や生徒からのアンケート等は実施したのか。

A 南北中学校の保護者に対し、アンケートを実施しております。その後、霞ヶ浦地区の小学に通う5～6年生の保護者を対象にアンケートを行いました。なお、アンケート結果については統合だよりとして広報しております。

Q 通学する生徒の安全を確保するためにスクールバスを運行するとの考え方が基本的だと思うが、教育委員会のスタンスは。

A 今回のスクールバス運行基準は、通学環境が変化する北中学区で通学距離が遠くなることを一つの基礎としております。

Q スクールバスは北中学区だけで、南中学校は6 km以上でもバスの運行はしない。この件について、保護者等への明確な説明はいつしたのか。

A 保護者アンケートの実施によって示したとの認識です。

Q 南中学校区にも6 km以上の通学距離の生徒がいる。北中学区だけスクールバスとの運行基準に保護者から異論はなかったのか。

A バスを利用したいとの声はありました。一方、自転車で通学するので大丈夫との声もあります。

Q 今回、請願が提出されております。これについては、真摯に受け止めるとの考えか。

A 請願内容については、真摯に受け止めます。しかし、バスの運行範囲の拡大は事業費も必要になりますので、よく検討したいとの考えです。